

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2020-64326 (P2020-64326A)

【公開日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-016

【出願番号】特願 2020-5441 (P2020-5441)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 23 日 (2020.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤグリッド構造を有する偏光板であって、  
透明基板と、  
使用帯域の光の波長よりも短いピッチで前記透明基板上に配列されて所定方向に延在し、  
光反射性材料からなる反射層を有する格子状凸部と、を備え、  
前記格子状凸部が、前記透明基板側から順に、台座と、前記反射層と、光吸収性材料を含む吸収層と、を有し、  
前記格子状凸部の表面及び前記格子状凸部間に形成される溝の底面部の表面には、これら表面を覆う保護膜が形成され、  
前記保護膜は少なくとも、  
前記反射層の側表面を覆うように単層で形成される第 1 保護膜と、  
前記溝の底面部の表面を覆うように単層で形成され且つ有機膜からなる第 2 保護膜と、  
前記吸収層の表面を覆うように単層で形成され且つ有機膜からなる第 3 保護膜と、を有し、  
前記第 1 保護膜は、ホスホン酸系撥水膜からなる偏光板。

【請求項 2】

ワイヤグリッド構造を有する偏光板であって、  
透明基板と、  
使用帯域の光の波長よりも短いピッチで前記透明基板上に配列されて所定方向に延在し、  
光反射性材料からなる反射層を有する格子状凸部と、を備え、  
前記格子状凸部が、前記透明基板側から順に、台座と、前記反射層と、光吸収性材料を含む吸収層と、を有し、  
前記格子状凸部の表面及び前記格子状凸部間に形成される溝の底面部の表面には、これら表面を覆う保護膜が形成され、  
前記保護膜は少なくとも、  
前記反射層の側表面を覆うように単層で形成される第 1 保護膜と、  
前記溝の底面部の表面を覆うように単層で形成され且つ有機膜からなる第 2 保護膜と、  
前記吸収層の表面を覆うように単層で形成され且つ有機膜からなる第 3 保護膜と、を有し、

前記第 2 保護膜は、パーフルオロデシルトリエトキシシランからなる偏光板。

【請求項 3】

前記反射層は、アルミニウムまたはアルミニウム合金からなる、請求項 1 又は 2 に記載の偏光板。

【請求項 4】

前記吸収層は、誘電材料をさらに含み且つ前記光吸収性材料と前記誘電材料の混合層からなる、請求項 1 から 3 いずれかに記載の偏光板。

【請求項 5】

前記吸収層は、前記反射層上に形成され且つ誘電材料からなる誘電体層と、前記誘電体層上に形成され且つ前記光吸収性材料からなる光吸収層と、からなる、請求項 1 から 3 いずれかに記載の偏光板。

【請求項 6】

前記第 2 保護膜と前記第 3 保護膜は、同一材料からなる、請求項 1 から 5 いずれかに記載の偏光板。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 いずれかに記載の偏光板を備える、光学機器。